

JESCO 豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.260)

1. 高濃度PCB取扱エリア等解体撤去工事の準備状況について

豊田PCB処理事業所の解体撤去計画では、令和7年度から令和9年度にかけて先行解体撤去工事として、「高濃度PCB取扱エリア等解体撤去工事(対象設備:約730t)」を実施する予定です。現在、本工事を事故なく安全に進めていくため、準備作業を行っています。

【作業場の整理・撤去】

本工事は高濃度PCBを取り扱っていたエリアを8か所に分けて解体撤去工事を行います。一部の解体エリアについて、事前に工事を実施する上で妨げになる残存資機材や消耗品等の不要物(オイルパンや洗浄用鋼製容器等)を撤去しました。

これにより、解体撤去対象設備周辺での作業に支障がなくなり、安全、円滑に作業を行うことができます。

引き続き、その他不要物についても、本工事前までに撤去作業を行っていきます。



解体設備周辺の不要物の撤去作業



プラント設備の電気離線・解線の作業

【電気機器等の遮断(離線・解線等)】

本工事の解体撤去対象設備数は、約200種類あります。当該設備の解体撤去を実施する前に感電等のトラブルを防ぐために各々電気的な離線・解線等を実施しています。ただし、本工事対象エリアの一部搬送設備等は、工事中も使用するため、離線・解線等は慎重、確実に行う必要があります。

そのため、運転会社と協力して分電盤、設備側の配線図等をひとつひとつ確認し、現場と照合作業を進めています。



廃棄物保管、搬出のためのスロープ設置

【作業エリアの確保】

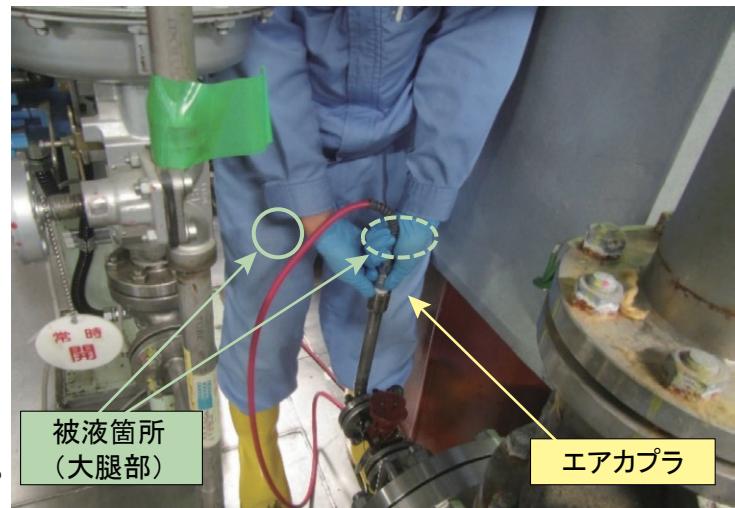
本工事は低濃度PCB廃棄物が約400t発生する見込みであり、解体撤去工事の進捗状況に応じて、低濃度PCB廃棄物等の保管、搬出をする必要があります。

そのため、豊田事業所内の限られたスペースの有効活用を目的として、段差のある立体倉庫跡地に新たにスロープを設置し、フォークリフト等で低濃度PCB廃棄物等の保管、運搬が安全かつ効率的にできるようにしました。

2. 作業中における低濃度PCBの漏洩がありました

11月4日(火)の午後2時5分頃に、処理棟4階にある真空加熱分離エリア(遮蔽フード内)で、使用しなくなった真空加熱分離装置の循環オイルクーラー廻りの配管の液抜き作業中、残液圧送用の空気を供給するためのカプラを外した際に空気に混じって10mlほどのオイルが霧状に飛び散り作業着と床面に飛散するというトラブルが発生しました。作業員の着衣オイルを分析したところ、低濃度のPCBが含まれていました。

なお、作業員にケガはなく、PCB含有オイルも遮蔽フード外に流出しておらず、周辺環境への影響もありませんでした。



3. 総合防災訓練を実施しました

10月31日(金)に総合防災訓練を実施しました。火災発生時の被害を最小限に、事業所内にいる全ての人を安全に避難させ、かつ、火災の延焼防止を図る目的で、豊田市南消防署西分署の御協力を頂き、合同で防災訓練を実施しました。

今回は、「蒸留エリアの一階で火災が発生し、発災現場近くにいる作業員が初期消火を試みたが、火勢が強く鎮火できない。」という想定で、119番通報と設備の緊急停止を行い、緊急避難放送を合図に屋外ピロティへ所内の全員が無事に避難することができました。



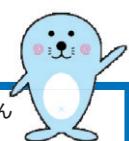
避難場所では各部署の責任者が点呼を行い、安否の確認が取れた部署毎に事業所長に報告し、避難状況を確認しました。その後、防災対策本部と現地指揮本部を立ち上げました。

また、公設消防隊が到着後は、消防の指揮隊へ火災の状況や避難状況等を報告、自衛消防隊が公設消防隊を現場近くまで誘導、現場を確認後に公設消防隊が固定式粉末消火設備を起動し、無事に火災を鎮圧する訓練ができました。公設消防隊の到着から鎮火確認に至るまで、実践ながらの有意義な訓練となりました。



デジ丸

問合せ先



アザラシのぴーちゃん

中間貯蔵・環境安全事業株式会社 (JESCO)

豊田PCB処理事業所 電話:0565-25-3110 FAX:0565-24-0543

【豊田PCB処理事業HP】 <https://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>